

2025/04/11 (予定) 機能追加

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している取引先（得意先／仕入先）を一元管理したい 他 8 件

Ver.250331

法人情報

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している取引先（得意先／仕入先）を一元管理したい

奉行V ERP

『固定資産奉行V ERPクラウド』・『勘定奉行V ERPクラウド』・『債権奉行V ERPクラウド』・『債務奉行V ERPクラウド』などの取引先（得意先／仕入先）を統合して一元管理できます。取引先の更新内容が他のサービスにも反映されます。

統合マスター（統合取引先）が設けられ、サービスごとの取引先と関連付けられるため、日々の入力は今までどおりサービス側で処理できます。

また、外部サービスも統合マスターとして管理できるようになります。

補足

統合マスター管理は『奉行クラウド』の共通データです。統合する『奉行クラウド』のサービスの、いずれか 1 つのサービスで設定してください。

追加メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［取引先 - 統合取引先］メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［取引先 - 外部マスター管理[取引先]］メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［統合マスター設定］メニュー

資産管理

【仕訳伝票作成】メニューの画面変更

変更前

+

仕訳伝票作成 - 仕訳種類選択

×

☐ 資産の計上

「建物」や「機械装置」、「車両運搬具」などを計上します

☐ リース取引の開始

「リース資産」と「リース債務」を計上します

☐ 減価償却費の計上

「減価償却費」を計上します

☐ リース料の支払

「支払リース料」などを計上します

☐ 減損損失の計上

「減損損失」を計上します

☐ 圧縮額の計上

「圧縮積立金」、または、「固定資産圧縮損」を計上します

☐ 圧縮積立金の取崩

「圧縮積立金」を取り崩します

☐ 資産の移動

「機械装置」や「リース資産」、「減価償却累計額」などの部門を振り替えます

☐ 資産の除却

「固定資産除却損」などを計上します

☐ リース取引の終了

取引開始時に計上した「リース資産」と「リース債務」の帳簿価額を減額します

☐ リースの中途解約

「リース解約損」を計上します

OK

キャンセル

変更後

仕訳伝票作成 - 仕訳種類選択

×

資産

☐ 資産の計上

☐ 減価償却費の計上

☐ 資産の移動

☐ 資産の除却

☐ 減損損失の計上

☐ 圧縮額の計上

☐ 圧縮積立金の取崩

リース資産

☐ リース契約の開始

☐ リース料の支払

☐ リース契約の中途解約

☐ リース契約の終了

OK

キャンセル

対応メニュー

〔資産管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票作成〕メニュー

承認の処理状態の配色を変更

奉行 V ERP

承認機能で表示される処理状況のアイコンの配色を変更しました。
承認機能については、目的から探す「[承認機能とは](#)」をご参照ください。

変更前	変更後
承認済	承認済
新規未承認	新規未承認
修正未承認	修正未承認
削除未承認	削除未承認
差戻	差戻

対応メニュー

- 〔資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報承認〕メニュー
- 〔資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報承認〕メニュー
- 〔資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報〕メニュー
- 〔資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報〕メニュー
- 〔資産管理 - 資産情報 - 電子帳簿保存 - 資産情報履歴〕メニュー
- 〔資産管理 - 資産情報 - 電子帳簿保存 - リース資産情報履歴〕メニュー

その他

すべてのメニューのダイアログにアクセスキーを搭載

キーボード操作で処理が実行できるアクセスキーを、すべてのメニューのダイアログに搭載しました。
キーボードの [Alt] キーを押すと、コマンドにアクセスキーが表示されます。
[Tab] キーよりも少ない操作でカーソルを移動できたり、キーボード操作だけで、項目の選択や付箋の色の切り替えができるようになります。

例

〔固定資産台帳 - 条件設定〕画面で [Alt] キーを押すと、[2] キー → [4] キーの計 2 回で、〔資産情報〕ページの定率法の選択欄までカーソルを移動できます。



対応メニュー

すべてのメニュー

表示したメニューをその場でクイックメニューにピン留めしたい

表示した画面左上の  (ウィンドウ設定) から「クイックメニューにピン留めする」をクリックすると、簡単にクイックメニューにピン留めできます。



詳細は、目的から探す「[クイックメニューの使い方](#)」をご参照ください。

なお、ズーム機能も、画面左上の  (ウィンドウ設定) の中に移動しました。

対応メニュー

すべてのメニュー

Windowsの「マウスホイールでスクロールする量」の設定を『奉行クラウド』に反映させてほしい

Windowsの「マウスホイールでスクロールする量」の設定を反映できるようになりました。
利用者ごとに、設定できます。

(画面は、『勘定奉行クラウド』の記事です。)

1. ヘッダー（背景が紺色の部分）の領域を細くして、その分、記事の領域を広くしました。
上記に伴い、ヘルプセンター内の記事を検索する検索窓を、画面中央から右側へ移動しました。
2. 記事の上部に表示していた「トピック」を、記事の右側の「この記事の内容」に表示するようにしました。
記事を下にスクロールしても、記事の右側に「この記事の内容」が表示され続けます。
3. リンク部分に、常に下線を表示するようにしました。
4. 一番大きい見出しの上に、灰色の区切り線を表示するようにしました。
併せて、余白も入れることで、見出しごとの区切りにメリハリをつけました。

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。